

絶縁監視装置等の設置に係る設備調査表

設置者		名称			作成年月日	平成16年 1月10日	
		所在地			作成者 氏名	〇〇法人 保安 全一	
事業場		名称					
		所在地					
設備容量		150kVA	受電電圧	6,600V			
総合判定						適	否
設備等	No.	調査項目				判定	備考
高圧受電設備	1	柱上に設置した高圧変圧器がないもの。				適	否
	2	高圧負荷開閉器（キュービクル内に設置するものを除く）に可燃性絶縁油を使用していないもの。				適	否
	3	保安上の責任分界点又はこれに近い箇所に地絡保護継電器付高圧交流負荷開閉器又は地絡遮断器が設置されているもの。				適	否
	4	責任分界点から主遮断装置の間に電力需給用計器用変成器、地絡保護継電器用変成器、受電電圧確認用変成器、主遮断器開閉状態表示変成器及び主遮断器操作用変成器以外の変成器がないもの。				適	否
低圧電路	1	(I _o 絶縁検出器) 絶縁不良のない定常状態において I _o が十分小さいこと。 電灯: mA 動力: mA mA mA 動力 mA 電灯				適	否
	2	(I _{gr} 絶縁検出器) 電灯: 5mA 動力: 8 mA -mA -mA 動力 -mA 電灯				適	否
	3	非常用照明装置、消防設備、昇降機等非常時に使用すべき電路以外の低圧電路に、日本工業規格 JISC8371（漏電遮断器）に規定する高感度高速形に適合する漏電遮断器を設置したものであること。 ただし、幹線及び分岐回路の配線を人が直接触れるおそれがないように施設した場合は、当該部分の定格感度電流を 200mA 以下とすることができる。				適 否 (該当)	別添「漏電遮断器の性能及び設置箇所に関する説明書」参照
絶縁監視装置	使用機器及び方式			使用機器の形式名及び台数			
	1	検出方式	I _o 絶縁検出器	(1) I _o 方式	T形. M形. (1バンク用 台、2バンク用 台)		
			I _{gr} 絶縁検出器	(2) I _{gr} 方式	T形. M形. (1バンク用 1台、2バンク用 1台)		
	2	通報方式	通報器	(1) 電話連絡方式	T形. M形. (台)		
発信器			(2) 自動通報方式	T形. M形. (1台)			

(注) 必要事項を記入し、判定欄は該当箇所に○印を記すること。